

助成対象事業成果報告書（概要版）

制度名	チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	「映画・映像・舞台芸術・防災等に対応したクラウド型情報保障サービスの提供」
助成対象事業者名	特定非営利活動法人 メディア・アクセス・サポートセンター
助成金の額	4,302千円

【助成対象事業の全般について】

① 助成対象事業の概要	視聴覚障害者に向け、音声透かしや音声解析技術等とスマートフォンアプリ等を使って、音声ガイドや字幕、手話を提供するサービスを行う。
② 助成対象事業の目標	DVD・Blu-ray、映画館、博物館、舞台芸術、ホテル等に PC ソフトやスマートフォンアプリを使って視覚障害者用音声ガイドや聴覚障害者用字幕等の配信をインターネット上のサーバーから提供することで、芸術へのアクセス保証を拡大していく。

【平成30年度実施部分について】

③ 助成対象事業の実施内容	<p>1 視覚障害者用音声ガイド配信:61 作品(目標 50 作品)</p> <p>2 聴覚障害者用メガネ用字幕配信:45 作品(目標 20 作品)</p> <p>3 防災放送対応:3ヶ所(継続案件)</p> <p>4 DVD 用字幕配信合計 330 ディスク(継続)</p> <p>5 舞台芸術向け字幕、音声ガイド配信システム開発(継続)</p> <p>・9月16日 場所:品川きゅりあん 公演:DREAM にて実証実験</p>
④ 助成対象事業の成果	<p>スマートフォンアプリによる視覚障害者用音声ガイドは目標をこえる多くの作品に対応できた。スマートグラスによる字幕も本格的に配信が始まり目標の倍以上となった。防災及び DVD 用字幕は継続中。舞台芸術向けシステムはほぼ完成し、実証実験を行った。メガネ型字幕配信は本格的に始まったものの、機器が高額なため利用は非常に少ない。これを改善するため全国の映画館で貸出事業を始める準備をしている。それと個人が持つスマートフォンに表示して観る方法も模索中。舞台芸術向け配信システムは来年度リリース予定。</p>
⑤ 補足説明事項	<p>【サービスを利用した人数】</p> <p>音声ガイド1作品のダウンロード数 300～1500 前後。音声ガイドと字幕で、年間5万人を超える利用者となった。</p>